

領域4 インフォーマルミーティング議事メモ (案)

報告者 樽茶清悟 (領域代表)

インフォーマルミーティング (2008年3月24日 (月) 12:30~13:30) 資料参照のこと。

【報告事項】

1. プログラム小委員会・領域委員会 (2007. 11. 21) 報告と関連の意見
報告 (1) - (4)
報告 (5) に関して
....呼称については、領域4としてはどちらでも可。
2. プログラム編成会議 (2007. 12. 13) の報告
3. 第2回日本物理学会若手奨励賞 (領域4) の報告
.... 周囲の方に宣伝して、なるべく応募を増やすよう心がける。
4. 領域4 メールリングリスト (jps-semicon@appi.keio.ac.jp) への参加呼びかけの報告

【審議事項】

1. 次期領域代表・副代表 (任期: 2008. 10~2009. 9) の確認と承認
2. 次半期の世話人確認
3. 次々期世話人 (任期: 2008. 11~2009. 10) の承認
鈴木恭一 (NTT 物性基礎研)、鶴沼毅也 (名大工)、山本倫久 (東大工)
4. 世話人の仕事分担
 - ・プログラム編成 (編成会議への出席は東京近郊の3名程度)
世話人の間で決める.... 了承
 - ・領域HPのメンテナンス (1名)
.... 1年単位で引き継ぎ。東京近郊以外の方。
 - ・シンポジウム、招待講演、企画講演の計画
.... 招待、企画講演は個人ベースでの提案が可能だが、カバーする範囲が限られるので、シンポジウムの提案は難しい。世話人を中心とする相談の仕方を工夫する必要。これについては、交替前後の世話人、代表、副代表 (合計15名) で広く意見交換して提案を具体化することを検討する。そのために必要なメールネットワークを作る。
次期、次々期の世話人にも世話人の活動状況が分かるようにCCでメールを送る (該当の方の了承を得た後メールネットワークを作る。担当: 遊佐)
5. 領域キーワードの改訂
.... 今後、世話人を中心にキーワードを現状に合わせて見直す。必要ならばメールで意見交換して改訂案を作成し、領域提案として本部に申請。
6. グラフェンの合同セッション (領域4と7) の今後の進め方について*
... 時宜を得たものについては、参加者にとって良い企画なので、積極的に勧める。一方、現状に合わなくなった場合には解消する。当面、グラフェンの合同セッションについては賛同。

* 補足

その後、本合同セッションに関して領域4と7の世話人の間で今後の進め方について意見交換を

しました。領域4からは今中氏と河野氏が出席。主な確認事項は以下の通り。

- (1) グラフェンの合同セッションは盛況であり、しばらく様子を見ながら続ける。
- (2) 次回以降、どういう形態で行うかは早めに議論する。(あちらからはグラフェン専用の部屋を作って、領域4, 7にかかわらず、そこを使うようにするのが良いのではという提案がありました。)
- (3) 申し込み時に合同セッションであることを、申込者に分かるようにする。